

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
① 地域の相談支援を拠点として総合的な相談業務を実施する ② 相談員の質の向上 ※	◇相談支援事業所への巡回個別相談 通年 ・他事業所の相談支援専門員への支援 ・地域課題の確認	P. 29 P. 30	①② 7月11日 ・いわぎき授産所 ・メロディー相談支援事業所 7月19日 ・相談支援室こぐまさん 7月21日 ・サンビレッジ障害者支援センター 7月26日 ・サンフレンド障害者生活支援センター 8月15日 ・相談支援事業ハートランド小牧の杜 8月24日 ・アザレアフォルテ 8月28日 ・地域活動支援センター本庄プラザ	各事業所を周り、直接話をする事によって、「相談員同士の関係性が出来て良かった」という意見を頂けた事業所もあったが、「忙しいため、時間が作れない」という事業所もあった。 「緊急対応ですぐにショートステイを利用したいが、受け入れ先がなかなかない」という困りごとがあった。 (4月～9月)	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更(※)	理由・根拠
※続き	◇学校教育課からの依頼で、市内の小中学校の教員を対象に、福祉サービスについての講話を行った。	P. 29 P. 30	①7月21日開催 【参加 20名】 ②9月12日開催 【参加 55名】	①放課後等デイサービスの手続きの流れや、取り組み内容、利用料金などについて説明した。 ②ライフステージに沿った福祉サービスについての講話を行った。 将来に向けた、福祉サービスについての話が聞けて良かったと参加者から声を聞いた。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更 </div>	学校教育課からの依頼で対応した。今回で終了。
	◇小牧市障がい者基幹相談支援センター進捗検討会議 基幹相談支援センター業務の外部チェック機能として主に次のことをおこなう。 ・基幹 相談支援センターがおこなった相談支援専門員への支援の評価 ・基幹相談支援センターが関与する困難ケースへの対応の評価 ・その他		8月29日開催 【参加者 7名】	巡回訪問で聞き取った内容を伝え、主任相談支援専門員や、委託相談支援事業所から助言をもらうことができた。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更 </div>	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
※続き	◇相談支援 専門員 初任者研修受講者 フォローアップ研 修	P. 29 P. 30			終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
	◇相談支援専門員 現任研修受講者 フォローアップ研 修		①8月8日開催 【参加者 6名】 ②9月11日開催 【参加者 7名】	①ケースについて、 小牧市内の社会資源 等の助言を行い、よ り幅の広い社会資源 を伝えることができ た。 ②小牧市障害者自立 支援協議会の現状を 伝え、各連絡会の取 り組みを知っていた だくことができた。	終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	来年度も、相談支援専門員 現任研修受講者に対しての フォローアップは基幹相談 支援センターで行ってい く。
①緊急時の受け入れ 体制の整備	◇グループホーム 意見交換会 (11月予定)	P. 27 P. 28			終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	
①長期入院患者や 長期入所者の退院 ・退所の支援	◇病院・施設との 連携	P. 44			終了 ・ 継続 → 同じ ・ 変更	

目的	方法	頁	実施状況	評価	終了・継続・変更 (※)	理由・根拠
①虐待を未然に防ぐ ②障がい者を地域で孤立させない	◇障害者虐待防止研修会 尾張北部権利擁護センター開催企画の啓発の協力	P. 33	7月13日開催 「虐待防止研修」 【参加者 21名】	「虐待対応の基礎知識の講義の中で、虐待の具体例があり、分かりやすかった」、「障害と高齢の虐待の違いを学ぶことができた」という感想や、グループワークでは、「他職種の方々と話をする機会になり、共有することができた」という感想があった。今後も、虐待を未然に防げるよう、学ぶ場を設けていく必要がある。	終了 ・ 継続 → 同じ 変更	今後も研修開催があれば、案内し、虐待への意識や、未然に防げるように取り組んでいく必要がある。
①職員が適切な対応を行えるよう研修を行い、資質向上を図る ②障がいを理由とする差別の解消を推進する	◇事業所対象に障害者差別解消法に関する研修 (12月予定)	P. 32			終了 ・ 継続 → 同じ 変更	

(※) 次年度も同じ内容で継続、または目的を変えず方法を変えるという意味で変更